

入札監理小委員会の審議結果報告
大山隠岐国立公園大山寺及び柵水高原集団施設地区
公園施設維持管理、情報提供等業務

入札監理小委員会において、環境省の標記業務について民間競争入札実施要項（案）を審議したので、その結果を報告する。

1. 業務の概要及びこれまでの経緯

- 本業務は大山隠岐国立公園区域内の環境省所管施設（情報館、野営場等）の管理、運営及び情報館における公園情報の提供を行うもの。
- 平成 22 年度より民間競争入札を導入しており、今回で 3 期目となる。なお公共サービス改革基本方針においては平成 28 年 7 月から平成 31 年 6 月までの 3 年間で実施することとされているが、予算確保の都合により平成 28 年 7 月から平成 29 年 3 月までの 9 か月間において実施することとなった。
- 従前の応札者数が 1 者であり、競争性の確保が課題となっている。

2. 実施要項（案）の審議結果について

【論点 1】 アンケートによる評価について、より多くの声を拾えるよう回収率の向上など他の優良事例を勉強していただきたい。（資料 2-2 7 頁）

【対応】 統計学上は 500 件の回答があれば標本誤差 5%程度の十分信頼に足る調査となるが、さらなる回収数の向上や回答者の偏りを避けるため、対面式によるアンケート集中実施日を設定し、年間 600 件の目標に上方修正した。ただし、今期は 9 か月間の実施となるため 4 分の 3 の 450 件を目標とする。

【論点 2】 アンケートのみに頼るのではなく他の評価方法についても検討いただきたい。（資料 2-2 5~6 頁）

【対応】 情報館及び野営場について、明らかな業務の不備や過失に起因する怪我やクレームの件数を質の評価項目として追加した。

【論点 3】 技術提案の評価項目について、事業者はどういった提案を求めているのか明瞭でないため精査が必要ではないか。（資料 2-2 16 頁）

【対応】 ご指摘に沿って具体例を追加した

【論点 4】 情報開示について、平成 28 年度に増加する業務が明確でなく新規事業者にもわかるような記載を検討いただきたい。（資料 2-2 51 頁）

【対応】 ご指摘に沿って修正した。

以上